

財政金融委員会開会要求

米国のサブプライムローン問題は、創業150年を超す老舗金融機関の証券会社リーマンブラザーズを破綻に追い込んだ。その負債規模は、64兆円と日本の国家予算にも匹敵する額である。その影響下で世界的に同時に株安と信用不安の連鎖が拡がり、我が国の日経平均株価も年初来安値を更新、日本経済や金融業界の不安は日増しに拡大している。景気悪化や年金不信への国民不安が日増しに増大している現状を鑑みると、早急に委員会を開会し、政府の見解を質して、国民の不安を払拭する必要がある。

本来ならば、破綻する状況は予想されており、事前策や緊急経済・金融対策で福田総理が陣頭指揮を執るべきだが、その責任を放棄したことでの生まれた政治空白が、不安に拍車をかけている。諸課題が山積している現状の中でわれわれは、国民の資産と生活を守り、その期待に応え、右記の項目を審議するために、参議院規則第三八条二項の規定に基づき緊急に財政金融委員会開会を要求する。

委員会開会についての回答を九月十八日正午までに求める。

平成二十年九月十七日

財政金融委員会

理事 円 より	辻 泰弘	大久保 魁
委員 平田 健	大塚 耕平	尾立 源
富岡由起夫	横峯 良輔	川崎 稔崎
水戸 将史	川合 孝典	森田 高

財政金融委員長 峰崎 直樹 殿